

「求められる学長像」について

京都府立大学は、府民に支えられ地域とともに歩む「知の拠点」として、130年近い歴史と伝統の中で、社会に貢献する人材を育て、高水準の研究を推進し、その成果を府民生活や地域社会の発展に活かしてきた。また、地域に根ざし、世界に開かれた魅力的で個性ある京都府立大学の創造に向け、「理念」と「行動憲章」に基づき果敢に挑戦し続けてきた。

しかし、少子化による18歳人口の減少が続く中、高等教育の無償化の導入や大学間競争の激化、Withコロナへの対応などにより、大学に求められる機能と役割は大きく変化しており、本学の教育研究体制はそれを支える施設環境とともに、これまでにない変革が求められている。

このような中、本学は、新生・京都府立大学として学部学科再編を実施予定であるが、学長には、以下の資質・能力を求めたい。

- 京都府立大学の「理念」の具現化に向けて、「行動憲章」に基づき、明確なビジョンと方策を示し、情熱を持って大学改革を推進するリーダーシップを有すること
- 大学人としての高潔な人格と学識に優れ、教育・研究に深い情熱を持つとともに、高等教育機関を取り巻く諸事情に通じ、教育・研究・社会貢献活動を適切かつ効果的に運営できる能力を有すること
- 気候変動やDXなどの時代の変化や不測の事態をいち早く察知して、幅広い視野と先見性を備え、課題解決に向けて文理の知を結集し、スピード感を持って取り組む実行力を有すること
- 魅力に溢れ選ばれる大学となるため、京都府や京都府民の理解を得ることはもとより、他大学や高等学校、企業、団体等との連携強化を進め、大学の教育・研究環境の向上及び地域貢献に資する総合的な取組を推進する能力を有すること
- 学生の声に耳を傾けるなど学内コミュニケーションを円滑に保ち、また、学内外の様々な者との信頼関係を築き発展させる篤い人望を有すること